


# 中学校 2学年 国語 【坊ちゃん】

☆こんな本を希望

『坊ちゃん』や夏目漱石に関する本




☆図書館で準備できる本

	書名・著者・出版社	内容
1	養老孟司特別授業『坊っちゃん』 夏目漱石 養老孟司/著 (NHK100分 de 名著 ) (読書の学校 ) NHK 出版 2019.2	漱石と「坊っちゃん」を自身に重ねて説く<反常識>のすすめ。 「坊っちゃん」の大きなテーマ<大人になる>について考える。 養老孟司がお茶の水女子大学附属中学校で行った特別授業をもとに加筆・構成。生徒たちの感想も掲載。15人の中学生に対する講義。中学生の質問に答える形式で話が進む。 「坊ちゃん」を大人になるとはどういうことかというテーマで読み解く。日本の村度社会でどう生きていくか。作品の解釈が人生論になっている。
2	夏目漱石 石井宗吾/[著] (子どもの伝記全集 32 )ポプラ社	絵が挿入されていて、伝記として読みやすい。
3	夏目漱石 現代日本文学のあけぼの 西本鶏介/著 (講談社火の鳥伝記文庫 18 ) 講談社 1982.1	字が大きく、読みやすい。中学1・2年生向き。
4	夏目漱石 『坊ちゃん』をかいた人 桜井信夫/作:鴉田幹/絵 (フォア文庫 B184 ) 岩崎書店 1997.5	小学生にも広く読まれている「坊っちゃん」の著者、夏目漱石とはどんな人だったのでしょうか。どうして「文豪」といわれるのでしょうか。漱石の一生をやさしく描き出します。簡略化された伝記。絵もある。
5	ザ・漱石 全小説全二冊 夏目漱石/著 第三書館 2006.4 (上巻) 坊っちゃん, 夢十夜, 三四郎, 倫敦塔, 琴のそら音, 草枕, 一夜, 二百十日, 野分, それから, 文鳥, ころも, 明暗 (下巻) 吾輩は猫である, カーライル博物館, 幻影の盾, 薙露行, 門, 彼岸過迄, 虞美人草, 行人, 道草, 坑夫, 趣味の遺伝, 永日小品, 硝子戸の中	文字は文庫の2倍大、定価は文庫の半分弱。眼鏡無用の大活字版漱石2冊全集。上巻には、漱石の作品の中では一番よく読まれている「坊っちゃん」をはじめ、13作品を収録。下巻には、漱石の小説家デビュー作「吾輩は猫である」をはじめ、13作品を収録。解説・エピソード・梗概付き。ルビは少ないが、字は大きい。 
6	1時間で読める!夏目漱石 要約『吾輩は猫である』 講談社/編 講談社 2007.4	「吾輩は猫である。名前はまだ無い」国民的作家、夏目漱石が残した衝撃のデビュー作は、じつはこんなに面白い! 浪費家の妻、親友、収入など、漱石の「秘密」がいっぱいの、目からウロコが落ちる「名作」トリビア。時代背景の解説あり(丸谷オ一)「猫」の要約が中心だが、「坊ちゃん」のあらすじが2pある。

7	13歳からの夏目漱石 生誕百五十年、その時代と作品 小森陽一/著 かもがわ出版 2017.3	戦争の時代からの問い、恋愛問題の当時と今…。夏目漱石の世界を再発見! 夏目漱石の文学的生涯を解説し、その時代と作品について考察する。2016年8月開催の「中高生のための漱石講座」の内容をもとに書籍化。漱石の作品を、時代背景や出来事(特に戦争)と関連させて解説する。非常に面白いが、中学生にはやや難解な内容である。	
8	夏目漱石、読んじゃえば? 奥泉光/著:香日ゆら/漫画・イラスト (14歳の世渡り術) 河出書房新社 2015.4	「坊っちゃん」は中二病の物語? 「ころ」って傑作じゃない? 「それから」に潜むミステリーとは? 奥泉光が漱石の全く新しい読み方を伝授する。香日ゆらによる漱石案内漫画付き。小説家による小説の読み方が書かれている。漱石の作品に新しい解釈を当て、面白い説を述べている。	
9	夏目漱石解体全書 香日ゆら/著 (増補版) 河出書房新社 2024.4	漱石大好きマンガ家「香日ゆら」による、漱石を知り、漱石を楽しむための決定版。東京漱石1日ツアー、漱石をめぐる人々、漱石本装幀の世界など、イラストやマンガでガイドする。漱石山房記念館レポなどを増補。ルビなし。漱石自身に対する情報は多いが、作品に関する記述はあまりない。	
10	夏目漱石が面白いほどわかる本 後世にその名を残す大作家の「人」と「作品」がわかる入門書! 出口汪/著 中経出版 2005.7 3	漱石の謎、人間の謎、世の中の謎、文学の謎を、謎のままそっくりつかみ出して、誰にでもわかる形で提示した一冊。漱石がノイローゼになったわけ、過去に脅かされる漱石など、大作家の「人」と「作品」がわかる入門書。) 現代っ子「あいか」に夏目漱石の作品内容を会話を通して理解させていくという内容。坊ちゃんを「勸善懲悪の物語」として捉えるだけでは不十分とする。現代っ子(=物事を深く考えず、世の中の矛盾に目を向けることなく、既存の価値観に疑いを抱くこともなく、明るく楽しげにそして健やかに生きている。刺激に対して素直に反応する感受性を持つ)	
11	知っているようで知らない夏目漱石 出口汪/[著] (講談社+α新書 778-1C) 講談社 2017.10	一冊で漱石文学の全貌が分かる手引書。漱石文学の深さ、面白さを分かりやすく概説した上で、代表作を発表順に取り上げ、全体の粗筋、解説、特に鑑賞してほしいポイントを詳細に紹介する。記述内容は面白いが、中学生にはやや難解か。「坊ちゃん」という作品の面白さについての筆者の意見が述べられている。	
12	姜尚中と読む夏目漱石 姜尚中/著 (岩波ジュニア新書 821) 岩波書店 2016.1	夏目漱石の作品はこれまでずっと、生きづらくて悩む人たちに心の糧を与えてきた。漱石に心酔する著者が、「吾輩は猫である」「三郎」「それから」「門」「ころ」を紹介しながら、漱石の奥深い魅力を伝える。「坊ちゃん」は取り上げられていないが、内容は面白い。	
13	漱石先生の手紙が教えてくれたこと 小山慶太/著 (岩波ジュニア新書 858) 岩波書店 2017.8	漱石の書き残した若い人への手紙は、小説とは違った感慨を読む者に与え、綴られる励まし、ユーモア、人としての深さは、今を生きる人にとっても温かなエールとなる。示唆に富む手紙から、文豪・漱石の新たな一面に迫る。手紙の内容から漱石の人物像に迫る。	

<p>14</p>	<p>ヘタな人生論より夏目漱石 先の見えない時代を生きるための ヒント 本田有明/著 河出書房新社 2012.11</p>	<p>仕事とは、自立とは、愛とは、 人間とは。変化の時代を生きぬき、 人の心を見つめた文豪・夏目漱石。 「こころ」をはじめ、エッセイや書簡など を通して、漱石の“流儀”を読み取り、 現代をまっすぐに生きる知恵を学ぶ。 「坊ちゃん」に関する記述は4p。漱石の 作品の引用文が多い。</p>	
<p>15</p>	<p>漫画 吾輩は猫である 近藤浩一路/著 (岩波文庫 33-579-2 ) 岩波書店 2017.2</p>	<p>猫の眼から描かれた、苦沙弥先生をはじめとする人間たちの 織りなす珍談・奇談の数々。近代漫画の開拓者・近藤浩一路の ユーモアあふれる画と、各画に添えられた滑稽味ある達意の 文で、近代文学の古典を楽しむ。見開き2p、右側に本文、 左側にその中の一場面を描いた一枚の画がある。</p>	
<p>16</p>	<p>読書ってこんなに楽しいの!? 齋藤孝流とっておきの本の読み方 齋藤孝/[著] 小学館クリエイティブ 2022.11</p>	<p>「視点をもつ」ことを意識して本を読むと、深く読めるだけ でなく、いろいろな角度から本を読み解ける。10の名作に ついてとっておきの読み方を紹介するほか、読書のいいところ や、読書感想文の書き方、ブックリストも掲載。小学生に語り 掛けるように「坊ちゃん」の読み方(音読を勧める・語彙を 増やす)を説く。中学生にはやや平易に過ぎるかも。</p>	
<p>17</p>	<p>夏目漱石「名作」ナビ 『吾輩は猫である』『草枕』『三四郎』 『こころ』他 片山智行/著 三一書房 2025.2</p>	<p>「吾輩は猫である」「草枕」「虞美人草」「三四郎」「それから」…。 夏目漱石の個々の作品を十分に咀嚼して、漱石文学の爽り 豊かな「名作」たちの根底にある特徴、魅力を探る。 ★あらすじを追う形で作品自体を説明している。中学生には やや難しいか。</p>	
<p>18</p>	<p>夏目漱石 人生を愉快地生きるため の「悩み力」 齋藤孝/著 (齋藤孝の 天才伝 5 ) 大和書房 2006.8</p>	<p>齋藤孝が天才の秘密を読み解く人物伝シリーズ第5巻。日本 小説の基本をつくった、不機嫌でおかしな文豪の秘密を 大公開! 夏目漱石の考え方から人間像までを、独自の切り口と 豊富なビジュアルでわかりやすく解説する。漱石という人物を いろいろな角度から(生涯・考え方・悩み)から切り込んで 人物像を浮かび上がらせる。引き付けられる文章である。</p>	
<p>19</p>	<p>坊っちゃん 夏目漱石/著 (ポケット日本文学館 1 ) 講談社 1995.4</p>	<p>一本気な江戸っ子「坊ちゃん」が四国・松山の中学校でくりひろ げる痛快物語。不器用ながら正直に生きる主人公の姿に清々 しい反骨精神が光る、漱石文学の珠玉の名作。漢字は総ルビの ハンディ・サイズ。 今はあまり使われない語句の意味を、その傍に赤字で説明して いる。字の大きさなどが読みやすい。 例 囃した=声をあげて馬鹿にした。</p>	
<p>20</p>	<p>現代語で読む坊っちゃん 夏目漱石/作 深澤晴彦/現代語訳 (現代語で読む名作シリーズ 4 ) 理論社 2012.11</p>	<p>子どものころから無鉄砲な東京育ち の「坊っちゃん」は、中学校の教師に なって四国の田舎町へ。赴任早々、 悪ふざけをした生徒たちの卑怯な 手口に腹を立てる。大人社会の 不正に立ち向かう主人公を描いた 名作を現代語で収録。現代語を 使って、原文が伝えようとしている 意味をできる限りそのままに作品を 蘇らせている。 例 無暗をした=無茶なことをした</p>	

21	<p>漱石のことば 姜尚中/著 (集英社新書 0824 ) 集英社 2016.3 2</p>	<p>未完成であることが、ただひたすらにうれしいのです-。夏目漱石の平易な言葉は、今なお私たちに深い智慧をもたらしてくれる。半世紀以上にわたり漱石全集を愛読してきた姜尚中が、148 の珠玉の文章を紹介する。148 の珠玉の文章を引用して筆者の考えを述べる人生論である。</p>	
22	<p>10分で読める伝記 6年生 塩谷京子/監修 (よみとく10分) (増補改訂版) 学研プラス 2019.10</p>	<p>小学6年生が楽しく読める伝記短編集。メンデルや田中正造など12人を収録。折り込み式の偉人マップ&amp;偉人の年表、偉人のとびら付き。漱石の一生(特に作家になる前)を平易な文章と挿絵で述べる。夏目漱石に関する部分は14pほど。</p>	
23	<p>こころ 夏目漱石/作 バラエティ アートワークス/企画 (まんがで読破 MD003 ) イースト・プレス 2020.11</p>	<p>作品の真髄をとらえ、徹底的に漫画化したもの。おもしろい。中学生と「夏目漱石」を結ぶ。</p>	
24	<p>吾輩は猫である 夏目漱石/作 バラエティ アートワークス/企画 (まんがで読破 MD056 ) イースト・プレス 2020.12</p>	<p>実際に小説を読んでもみようとする気にさせるマンガ。</p>	
25	<p>吾輩は猫である 上 夏目漱石/著 (ポケット日本文学館 7 ) 講談社 1995.6</p>	<p>「吾輩は猫である。名前はまだない。」捨て猫の「吾輩」が見た世界とは。猫の視点から人間社会を批評する斬新な方法と、全編にあふれるユーモアと風刺で、夏目漱石の名を世にしらしめた長篇の代表作。漢字にルビあり。現在ではあまり使われない語句に意味が赤字で記載されている。</p>	
26	<p>夏目漱石 いまも読みつがれる数々の名作を書き、人間の生き方を深く追究しつづけた小説家 三田村信行/著 (伝記世界を変えた人々 20 ) 偕成社 1994.3</p>	<p>やや詳しい内容の伝記。 写真がある。</p>	